



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月8日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8127 URL http://www.yamatointr.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 I R 経営企画室長 (氏名) 川島 祐二 TEL 03-5493-5629
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績（2020年9月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	3,734	△13.4	156	△29.6	193	△18.6	147	△5.7
2020年8月期第1四半期	4,311	△4.1	222	△46.7	237	△45.5	156	△44.2

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 269百万円 (△8.7%) 2020年8月期第1四半期 295百万円 (△8.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	7.18	—
2020年8月期第1四半期	7.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期第1四半期	21,656	15,945	73.6	776.06
2020年8月期	20,917	15,799	75.5	768.93

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 15,945百万円 2020年8月期 15,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2021年8月期の配当予想については、2021年8月期の連結業績予想を見通すことが困難であることから、引き続き未定とさせていただきます。今後、2021年8月期の連結業績予想の開示が可能となった段階で、配当予想についても公表いたします。

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2021年8月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響に関して、今後の収束時期及び需要の回復時期等の予測が困難であることから、引き続き未定とさせていただきます。今後の業績への影響を慎重に見極め、予測数値の合理的な算出が可能になった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期1Q	21,302,936株	2020年8月期	21,302,936株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	755,539株	2020年8月期	755,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期1Q	20,547,418株	2020年8月期1Q	20,548,168株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響により経済活動が制限されたことで企業業績が悪化し、景気は大きく後退しました。新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない中で、依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当アパレル・ファッション業界におきましては、消費増税による根強い節約志向に加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う人々の外出自粛や、それによる商業施設の集客減少等の影響も大きく、極めて厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループは、現コロナ禍を切り抜け継続的に利益を残せる企業へ向けた構造改革に着手する中で「ものを創り 人を創り お客様と共に心豊かな毎日を創る」という不変のミッションのもと、3年後のあるべき姿を目指し、中期ビジョン「Yamato2023」を始動しております。大きな転換期を迎えた人々のライフスタイルや価値観が様変わりする中で、いつの時代でもお客様に求められ続ける真のブランド創りを目指してまいります。

基幹事業である「クロコダイル」は1963年の発売以来、半世紀以上にわたり愛され続ける当社のオリジナルブランドです。ライフスタイルテーマ「クロコダイルTrad2020」のもと、改めて原点である顧客起点に立ち返り、ブランドコンセプトに基づいた既顧客の満足度向上と活性化に繋がる商品の強みや付加価値を戦略的に構築し、また潜在顧客が興味を持ち共感できる新しいスタイルを提案してまいります。更に商品・店舗・コミュニケーション等すべてにおいて一貫性を保ち提供することで、お客様のブランドに対する認知・認識を深め顧客を獲得し、事業の持続的な成長を目指してまいります。

新規事業である「CITERA (シテラ)」は、“アクティブ・トランスファー・ウェア”をテーマに、スタンダードなスタイルにテクノロジーを用いた素材や機能を持たせ、都市内 都市間の移動を「より快適」で「よりスマート」にするフリクションレスで利便性の高い商品開発に注力するとともに、新しいファンクションやサービスへの投資を積極的に行うことで、更なる売上拡大を目指しております。また、米国発アウトドアファッションブランド「Penfield (ペンフィールド)」と、日本国内における商標権を取得したハワイ発カジュアルサーフブランド「Lightning Bolt (ライトニングボルト)」は、ブランド認知度向上と価値向上に注力し、ライセンス事業の拡大を目指してまいります。

一方、当社グループの物流業務を請け負う子会社ヤマト ファッションサービス株式会社は、在庫管理や入出荷業務の精度向上に努めるとともに、新たに導入した自動ソーターが本格稼働する等、積極的な投資を行うことで更なる業務の生産性向上を図っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受け、売上高が37億3千4百万円（前年同期比13.4%減）と減収になりました。利益面では、売上総利益率は49.3%（前年同期比2.1ポイント増）となり、販売費及び一般管理費については16億8千5百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益は1億5千6百万円（前年同期比29.6%減）、経常利益は1億9千3百万円（前年同期比18.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億4千7百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業36億5千8百万円（前年同期比13.6%減）、不動産賃貸事業7千6百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は97億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億1千7百万円増加いたしました。主な要因は、商品及び製品が6億2千2百万円、受取手形及び売掛金が5億9千8百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。なお、現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は53億3千4百万円から5億7千3百万円減少し47億6千万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は119億4千3百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億2千1百万円増加いたしました。主な要因は、有形固定資産が3千2百万円減少し、投資有価証券が1億7千4百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は216億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億3千8百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は45億8千9百万円となり、前連結会計年度末と比べ5億7千9百万円増加いたしました。主な要因は、電子記録債務が5億4百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は11億2千万円となり、前連結会計年度末と比べ1千2百万円増加いたしました。主な要因は、繰延税金負債が4千8百万円増加し、長期借入金金が3千6百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は57億1千万円となり、前連結会計年度末に比べ5億9千2百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は159億4千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億4千6百万円増加いたしました。主な要因は、利益剰余金が2千4百万円、その他有価証券評価差額金が1億2千5百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は73.6%（前連結会計年度末は75.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響に関して、今後の収束時期及び需要の回復時期等の予測が困難であることから、引き続き未定とさせていただきます。今後の業績への影響を慎重に見極め、予測数値の合理的な算出が可能になった段階で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,334,347	3,760,955
受取手形及び売掛金	1,249,899	1,848,365
有価証券	999,998	999,998
商品及び製品	2,292,237	2,915,099
仕掛品	92	—
その他	220,571	190,614
貸倒引当金	△1,804	△2,524
流動資産合計	9,095,343	9,712,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,311,825	1,289,858
機械装置及び運搬具（純額）	148,365	142,038
土地	5,179,068	5,179,068
リース資産（純額）	26,418	28,293
その他（純額）	82,569	76,211
有形固定資産合計	6,748,248	6,715,469
無形固定資産		
投資その他の資産	25,626	24,018
投資有価証券	4,680,119	4,854,413
差入保証金	66,829	66,323
退職給付に係る資産	201,864	201,528
繰延税金資産	11,952	3,638
その他	115,377	106,142
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	5,048,472	5,204,375
固定資産合計	11,822,346	11,943,863
資産合計	20,917,690	21,656,373

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,729	465,917
電子記録債務	2,586,612	3,091,527
1年内返済予定の長期借入金	167,372	159,372
未払法人税等	1,657	51
賞与引当金	78,693	—
返品調整引当金	9,000	17,000
ポイント引当金	5,597	6,189
店舗閉鎖損失引当金	21,251	21,251
その他	660,432	828,551
流動負債合計	4,010,345	4,589,860
固定負債		
長期借入金	618,213	581,370
資産除去債務	33,669	33,688
繰延税金負債	209,000	257,494
その他	246,900	248,017
固定負債合計	1,107,783	1,120,571
負債合計	5,118,128	5,710,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	4,988,692	4,988,692
利益剰余金	5,856,433	5,880,742
自己株式	△363,733	△363,763
株主資本合計	15,399,044	15,423,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	380,498	505,783
繰延ヘッジ損益	△1,616	198
退職給付に係る調整累計額	21,634	16,635
その他の包括利益累計額合計	400,516	522,617
純資産合計	15,799,561	15,945,941
負債純資産合計	20,917,690	21,656,373

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
売上高	4,311,477	3,734,567
売上原価	2,268,984	1,884,629
売上総利益	2,042,493	1,849,938
返品調整引当金戻入額	13,000	9,000
返品調整引当金繰入額	20,000	17,000
差引売上総利益	2,035,493	1,841,938
販売費及び一般管理費	1,812,788	1,685,165
営業利益	222,704	156,772
営業外収益		
受取利息	3,629	3,547
受取配当金	5,742	4,219
為替差益	1,816	1,510
雇用調整助成金	—	20,418
その他	5,515	8,642
営業外収益合計	16,704	38,339
営業外費用		
支払利息	1,777	1,413
その他	162	490
営業外費用合計	1,940	1,904
経常利益	237,468	193,207
特別損失		
固定資産除却損	64	—
投資有価証券評価損	—	56
特別損失合計	64	56
税金等調整前四半期純利益	237,404	193,150
法人税、住民税及び事業税	97,234	35,234
法人税等調整額	△16,349	10,321
法人税等合計	80,885	45,556
四半期純利益	156,519	147,594
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	156,519	147,594

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	156,519	147,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134,335	125,285
繰延ヘッジ損益	8,901	1,814
退職給付に係る調整額	△4,369	△4,998
その他の包括利益合計	138,867	122,100
四半期包括利益	295,386	269,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,386	269,694
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,232,599	78,878	4,311,477	—	4,311,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,232,599	78,878	4,311,477	—	4,311,477
セグメント利益	380,082	44,186	424,269	△201,564	222,704

(注)1. セグメント利益の調整額△201,564千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維製品製造販売業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,658,468	76,099	3,734,567	—	3,734,567
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,658,468	76,099	3,734,567	—	3,734,567
セグメント利益	290,790	40,411	331,201	△174,429	156,772

(注)1. セグメント利益の調整額△174,429千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。